

お店・イベントなどお知らせ

	べらしお福祉 住吉東店	コブン・カフェ	手作りショップ パンプ	Café コロたま
こんなお店	おいしい塩ラーメン は看板商品！メニュー も充実しています。	豊富なメニューを そろえていますよ ～	パンと焼き菓子 のお店です。	JR 阪和線我孫子 町駅近くの喫茶店 です。
開店曜日	月曜日～金曜日	月曜日～金曜日	月曜日～金曜日	不定期営業
開店時間	11:30～13:30	9:30～14:30	10:00～16:00	11:30～14:30
備考	12月29日(木)～ 1月4日(水)までお 休みさせていただきます。	12月29日(木) ～1月3日(火)ま でお休みさせてい たきます。	12月29日(木) ～1月4日(水) までお休みさせて いただきます	

	FamilyFrendry らふら	みんなのマーケット るびなす	田辺大根堂	その他の 「カフェ」 「食堂」関 係はしば らくお休 みさせて いただき ます。
こんなお店	インスタ グラム  やってます！	堺市南区高倉台にある 就労支援のスーパーで す。	なごみ玄関で野菜や 乾物など販売してい ます。	
開店曜日	火曜日～土曜日	月曜日～金曜日	毎週木曜日	
開店時間	10:00～16:00	10:00～17:00	10:30～	
備考	12月30日(金)～1月 3日(火)までお休みし ます。		12月は休みなく営業 します。 年末年始のお休みは まだ未定です。	

すみよし区民まつり

【住吉区北地域包括支援センター】
10月22日(土) 沢之町公園にて開催されたすみよし区民まつりでブースを出展しました。
認知症高齢者が行方不明になった際に家族から捜索の協力依頼が発信される『みまもりあいア
プリ』を使ってスタンプラリーをしました！
天気にも恵まれ(暑すぎたくらい)多くの方にご参加いただき、スタッフも一緒に楽しみました。



ライフサポートだより Vol. 231

2022年12月号
(社福) ライフサポート協会
〒558-0054
大阪市住吉区帝塚山東5-10-15
☎ 06-6676-0753
🌐 <http://www.lifesupport.or.jp>
✉ info@lifesupport.or.jp

2022年度 法人実践報告会

「すべての人が尊敬される社会の実現」を法人理念に掲げ、
日々、積み重ねている実践を、現場から報告いたします。

日時 : 12月10日(土) 14:00～16:00 (受付13:30～)
場所 : 住吉総合福祉センター 2階大広間

ケース内容

① 火災発生 ～地域の会館での地域相談支援から見えてきたこと～
すみよしきたちいきほうかつ 住吉区北地域包括支援センター 宮本和俊

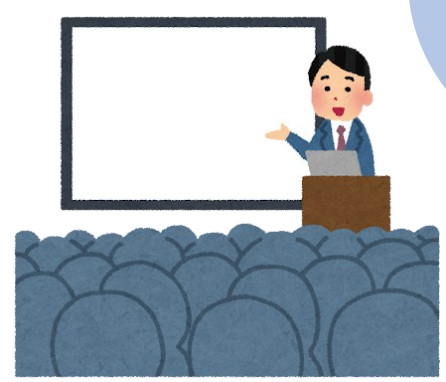
② かかわりつづけた彼の軌跡 ～製パン班とともに歩んできた10年～
せいはん あゆ オガリ作業所 田村知子

③ 人生と共にある関係性 ～地域の中の三雄さんみーつけた～
しょうきばたきのうがたきよたくかいご 小規模多機能型居宅介護きずな 中谷弘美

助言者 : 桃山学院大学教授 小野達也 先生

申し込みは、電話・ファックス・インターネット (Googleフォーム) いずれかにてお願い致します。

- ◆ 住吉区北地域包括支援センター (受付時間: 月～金 9:00～18:00) 住吉区帝塚山東5-6-15
Tel: 06-6678-1500 / Fax: 06-6678-1501
- ◆ インターネット申し込み (Googleフォーム)
右記のQRコード画像を携帯カメラで読み取っていただきますと
インターネット上の申し込みフォームへつながりますので
必要事項の記入をお願い致します。



きずなバザー開催しました



今年で8回目となる【きずなバザー】を11月5日開催しました。
当日は晴天に恵まれ、地域住民の方々、他機関の職員さん、法人の仲間と、来客者数総勢100名を超える大盛況となりました。ボランティアさんも今年も約20名の皆様のご協力くださいました。ありがとうございます。

きずなバザーの為に、思い入れのある物品や自宅に置いておられた物品など、沢山いただきました。大切な思い出、思いのこもった物をできる限りこれから大切に使用して下さる方々へお届けさせていただきました。この場をお借りしまして、御礼申し上げます。

きずな職員一同

オレンジカフェを再開しました

感染拡大により長らく自粛が続いた「オレンジカフェ」を再開しました。今回は「インボディ」という測定器を使って水分や脂肪などの体成分の過不足を検査するイベントを催しました。

2年半のブランクがあり、どれだけのご来場が

あるか不安でしたが、当日は会場いっぱいに大にぎわいでした。

長期間の自粛により、わたしたちの暮らしは大きく変わりました。いろいろなことに我慢を強いられることで、人とのつながりが先細りするのを、身をもって感じた者として、再開はとてものうれしく思います。失いかけたことを取り戻していくためにも、このような取り組みは長く続けていかなければならないと、あらためて感じた1日でした。



老いと向き合う講演会 天国からの手紙～自分の想いを伝え悔いなく生きる～

10月15日(土)に老いと向き合う講演会を開催しました。

当日は晴天に恵まれ、最高の落語日和。講師は、大阪市出身の行政書士、生島清身氏。高座は「天神亭きよ美」。現在は東京に事務所を構え、標題の創作落語で全国各地で公演をされています。落語は、子どもが見守る中、あの世に逝く母親が、天国から子どもたちに遺言書と手紙を書くというお話。日ごろから家族に自分の看取りや人生観などについて、伝えておくことの大切さについて、笑いを交えてお話しいただきました。落語の後には、エンディングノートや人生会議について紹介をしていただきました。

終活は、終わりの準備、死ぬ準備ではなく、自身が「後悔なく人生を生きるためのもの」。「死ぬこと」は「生きる」ということ。日ごろ日常の中で話題に出しにくいテーマを笑いあいの和やかな雰囲気でお話しいただきました。



たかくらだいハロウィン&オガリハロウィン

春に行われた「ハッピーイースターたかくら」に続き、コロナ禍で中止していた「たかくらだいハロウィン」が、10月29日(土)に3年ぶりに開催されました！



◀オガリ生活介護では利用者さんのみなさんでハロウィン企画をしました。

背景のかぼちゃのイラストはそれぞれのメンバーさんがちぎり絵で作った作品を飾っています。